

40年お世話になった忘れ得ぬゴルフ場の景色

野口幹夫

石原さんの忘れえぬゴルフ場風景に触発されて、私も忘れえぬゴルフ場のオマージュを書きます。忘れ得ぬという言葉の感じには、そこにはもういけないところという思いが込められています。私がここに書くゴルフ場は近くの茅ヶ崎海岸にできれば、西の伊豆半島の山肌にくっきりと見えているので、いつでも行ける場所なのですが、そして3年前までは毎月のように行っていたのですが、今はもう行く機会がなくなったところなのです。それは小田原城カントリークラブ。「天空のゴルフコース」と称しているところです。

長い前史があります。55年前 私が東芝の姫路のブラウン管工場の勤務の時、先輩から突然ゴルフ場に連れ出されて、ゴルフを始めたのです。それなりに腕前をあげて、その10年後 川崎駅前の本社工場に戻ったとき、ここではゴルフは無縁で残念と思っていたのです。ところが仲間内で新しいゴルフ場の建設とその会員権入手が話題となっていました。函南と根府川の山の2か所に新しいゴルフ場が同時開場するといひ、当時ゴルフ会員権は1000万円は相場だったのですが、ここは80万円と、破格の安さで勧誘があり、私でも買えたのです。誘い合っただけの会員となりました。やっと開場したとき すぐさまかけつけました。両方とも岩がゴロゴロの砂地斜面で、ところどころに芝があるといったひどいものでした。そのうち二つは分離、根府川の方が小田原城カントリーとなりました。東芝仲間の会として30人くらいでオクトーバ会（オダワラ・クラブ オブ トーシバを略して）を発足させま

した。1983年のことです。現役真っ盛りで そうたびたびゴルフはできない時代で オクトーバの名前通り 10月には大会をしました。10組くらいの大会になりました。そのうち、岩だらけだったコースも徐々に整備され、それこそ「天空のゴルフコース」と名乗ってもいいようになりました。

しかし それからの10年、会員は次々に引退し、若者の入会はありません。若い世代はサーフィンや釣りキャンプと趣味が多様化しゴルフを始める若者はすくなくなりました。そして私も定年を迎えたころ、ウィークデーにゴルフが楽しめる時が来たというわけで、

1996年には、会をオクトーバ ST と名を変え、

毎月第2火曜日にやることに決めました。そ

れでも2組か3組はあつまりました。

さらに、一人減り二人減りで、ついに2021年

11月、この写真のように3名だけとなり、オ

クトーバの卒業式をせざるをえませんでした。

た。

幸い私の家の近くにある茅ヶ崎ゴルフリンクスを拠点とする東芝 OB グループ会がありま

した。この会もほとんど開かれなくなっていたのですが、同じ東芝人だからと合流し復活さ

せました。体力がいる山岳コースとは違い 茅ヶ崎ゴルフリンクスは平坦で距離も短い、高

齢者向きです。今は月1回のペースでやっています。



そんなわけでもう縁がなくなった天空のゴルフ場、そこが「忘れえぬ風景」となっていました。



インの10番 東京タワーとほぼ同じ海拔 650mにあるテグランドから相模湾に向かって打ち下ろすのです。377ヤード パー4です。この距離では普通はワンオンできませんが、高低差100mの落ち降ろしです。200ヤードくらいの良いスポットに落とすとボールはコロコロ転がって、運が良ければワンオンするのです。

若かりし頃、まだドライバーで200ヤードは飛んだのでその快挙を2回ほどやりました。

そんな良い思いでもある絶景の風景です。今はまぼろしです。